

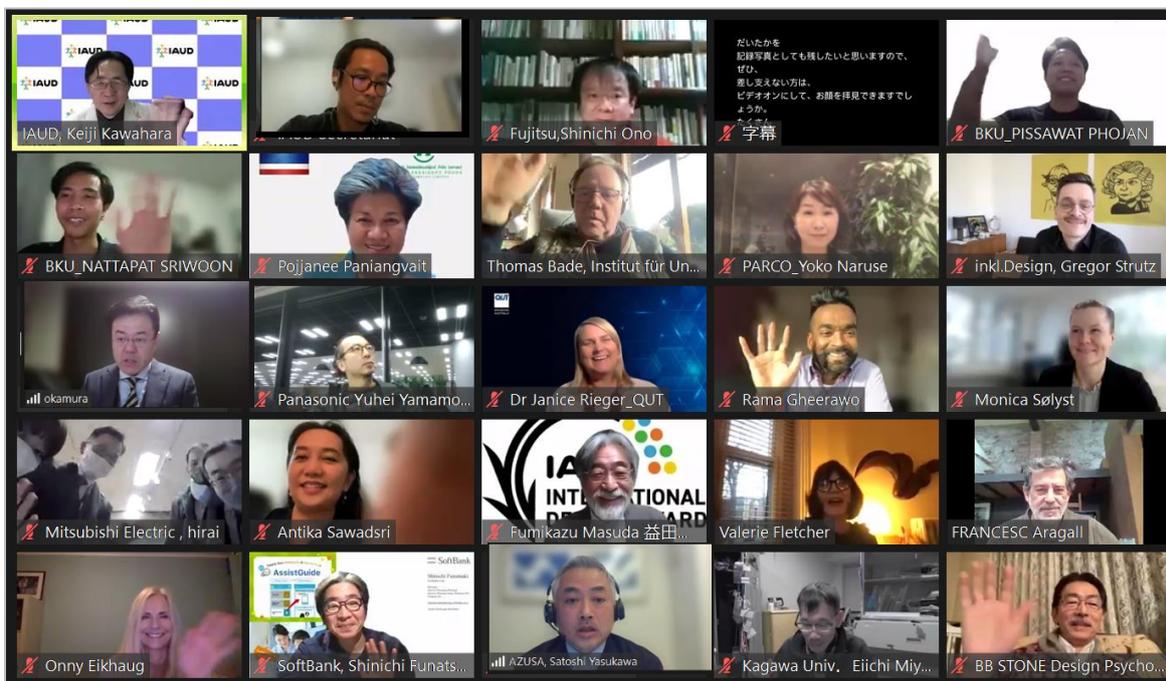
IAUD Newsletter vol.14 第12号(2022年3月号)目次

1. IAUD 国際デザイン賞 2021 プレゼンテーション／表彰式開催報告…………… 1
2. IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞紹介①…………… 6
3. 第15回UD検定・中級オンライン開催のご案内…………… 11
4. IAUD 2022年3月の予定…………… 11



革新的なUD活動を国際的に表彰

IAUD 国際デザイン賞 2021 プレゼンテーション／表彰式開催報告



世界11か国から約200人が参加した「IAUD 国際デザイン賞 2021 プレゼンテーション／表彰式」の様子

持続的な共生社会の実現に向けたUD活動を国際的に表彰する「IAUD 国際デザイン賞 2021」の表彰式及びプレゼンテーションが2022年1月28日(金)にオンラインで開催されました。当日は世界11か国から約200人のご参加をいただき、大変盛況のうちに終了いたしました。

今回は新たに創設された「学生チャレンジ部門」を含めて総計で世界9か国から54件がエントリーされました。その中から「大賞」2件、「金賞」9件、「銀賞」18件、「銅賞」10件、さらに学生のエントリーでは、「学生デザインチャレンジ優秀賞」1件と「学生デザインチャレンジ賞」7件が選定され、当日は表彰式や受賞者によるプレゼンテーションなどが行われました。

今号のNewsletterでは、表彰式の開催概要を報告します。

※「IAUD 国際デザイン賞 2021 プレゼンテーション／表彰式」開催速報は[こちら](#)をご覧ください。

※「IAUD 国際デザイン賞 2021」受賞結果は[こちら](#)をご覧ください。

※「IAUD 国際デザイン賞 2021」審査講評は[こちら](#)をご覧ください。

世界 11 か国から約 200 人がオンライン参加

今回で 11 回目を迎える「IAUD 国際デザイン賞」は、持続的な共生社会の実現に向けた UD 活動の実践や提案を国際的に表彰するもので、これまでに UD への理解の高まりを実証するような国内外の優れた活動や製品が受賞しています。

表彰式も 2017 年度はドイツ・ミュンヘン、2018 年度はタイ・バンコクと海外でも開催しており、毎回多数の方にご参加いただいております。

今回は新型コロナウイルス感染症対策のため前回同様オンラインで開催したところ、アメリカ、英国、オーストラリア、タイ、ドイツ、ノルウェーなど世界 11 か国から受賞者やデザイナー、建築家、学生や教育機関関係者、マスコミなど約 200 人にご参加いただきました。

当日の情報保障としては、日英の同時通訳と文字通訳を配信して参加者は日本語と英語の音声を選択できるようにしたほか、日本語字幕(他言語は自動翻訳字幕)も同時配信しました。

多様な分野で 9 か国 54 件のエントリー

当日は司会進行の川原啓嗣専務理事／IAUD 国際デザイン賞 2021 審査委員より、まずは受賞結果が発表されました。

今回は学生チャレンジ部門を含めて世界 9 か国(イスラエル、イタリア、オーストラリア、タイ、スペイン、ドイツ、日本、ノルウェー、フランス)54 件のエントリーの中から、「IAUD 国際デザイン賞 2021 審査委員会」により「第 1 次審査(書類審査)」と「第 2 次審査(本審査)」が厳正中立に行われた結果、「大賞」は三菱電機株式会社／兼松コミュニケーションズ株式会社の「聴覚障がいや言語の壁を乗り越える『しゃべり描き®アプリ』の取り組み」と、フィレスダル・コムーン(ノルウェー)の「ハマレン アクティビティパーク」が受賞しました。

さらに、各部門の「金賞」9 件、「銀賞」18 件、「銅賞」10 件が選出されたほか、新設された学生チャレンジ部門からのエントリーでは、「学生デザインチャレンジ優秀賞」1 件と「学生デザインチャレンジ賞」7 件が選ばれました。

大賞と金賞については、主催者を代表して古瀬敏理事長より、学生デザインチャレンジ優秀賞については、オンニ・エイクハウグ IAUD 国際デザイン賞 2021 審査委員長(EIDD デザインフォーオール・ヨーロッパ理事・ノルウェー)より、それぞれ表彰状が読み上げられました。

受賞者からは、「名誉ある賞をいただき大変光栄」「IAUD デザイン賞を目標に開発してきたのでとても嬉しい」「国際的に評価されたことを励みに、今後も UD へ真摯に取り組んでいきたい」など、喜びのコメントが述べられ、参加者も画面上にある拍手マークをクリックして受賞者の栄誉を称えました。



司会進行の川原審査委員



古瀬理事長と大賞の表彰状



大賞、金賞、学生デザインチャレンジ優秀賞受賞者から喜びのコメントが寄せられた

IAUD 国際デザイン賞 2021 主な受賞結果

【IAUD 国際デザイン賞 2021 大賞(2 件)】

コミュニケーションデザイン部門

- ・聴覚障がいや言語の壁を乗り越える「しゃべり描き®アプリ」の取り組み
三菱電機株式会社／兼松コミュニケーションズ株式会社：日本

公共空間デザイン部門

- ・ハマレン アクティビティパーク
フィレスダル・コムーン：ノルウェー

【IAUD 国際デザイン賞 2021 金賞(9 件)】

多様性包摂文化部門

- ・ヴィズ・アビリティ
クイーンズランド工科大学デザインラボ／QUT アートミュージアム：オーストラリア

医療・福祉部門

- ・顔認証付きカードリーダー
パナソニック株式会社：日本

住宅・建築部門

- ・御幣島ビル
日本生命保険相互会社／株式会社大林組：日本

ソーシャルインクルージョン部門

- ・聴覚障がい者のインクルージョンを促進する「環境音 AI 認識システムの研究・開発」
富士通株式会社：日本
- ・「ソーシャルグッドロースターズ」障害のあるバリスタや焙煎士が活躍するロースターリーカフェ併設の福祉施設
一般社団法人ビーンズ：日本

地域計画部門

- ・品川リハビリテーションパーク・品川区立大崎図書館
公益財団法人河野臨牀医学研究所／品川区／株式会社梓設計：日本

公共空間デザイン部門

- ・現代の石器時代：メットマン・ネアンデルタール博物館でのインクルーシヴ体験
Inkl. Design GmbH：ドイツ

インテリアデザイン部門

- ・心齋橋 PARCO 「Universal Room」
株式会社パルコ：日本

社会福祉部門

- ・MAMA モデルプロジェクト：障害者の家族のためのホリスティックで持続可能なキャリアサポート
Thai President Foods Public Company Limited/Workable Organization Limited：タイ

【IAUD 国際デザイン賞 2021 学生デザインチャレンジ優秀賞(1 件)】

- ・収監せずに更生させるプロジェクト
バンコク大学建築学部：タイ

世界7か国9名のUD専門家による審査委員会

表彰式の後、「IAUD 国際デザイン賞 2021 審査委員会」からの講評がありました。

同委員会は英国、米国、ドイツ、ノルウェー、スペイン、タイ、日本から9名のUD専門家で構成されており、UD理念の提示や具体的なアイデアの提案、活動の実践などを踏まえ、国際的な視野から審査します。各審査員からの講評や感想は以下のとおりです。

なお、前回まで審査委員長を務めていた英国王立芸術大学院名誉教授のロジャー・コールマン氏には、今回は審査顧問として審査委員会をサポートしていただきました。



エイクハウグ審査委員長

オンニ・エイクハウグ審査委員長：IAUD 国際デザイン賞はUDに関する唯一の国際的な賞。世界中が様々な課題に直面している現在、解決にはUDの実践が不可欠であり、今回はこれまで以上にこの賞がいかに重要かを実感した。受賞作にはジェンダーやアイデンティティ、マイノリティへの取り組みや官・民・地域の連携など、新しく独創的な実践例が多かった。



(左から) 益田副審査委員長、アラガイ審査委員、バーデ審査委員
フレッチャー審査委員、ギーラオ審査委員、サワスリ審査委員

益田文和副審査委員長（(株)オープンハウス代表取締役）：毎年UDの領域の広がりを強く感じている。今回も、人権や差別など様々な社会問題という新たなフロンティアに踏み込んでいる。また、若い人からの応募も増えており、世界の未来を感じられて嬉しい。

フランセスク・アラガイ審査委員（デザインフォーオール財団代表・スペイン）：若い世代からの応募が多く嬉しい。UDは我々のQOL(生活の質)を改善すること、そして地球を守ることにもつながるので、皆様にはこれからも引き続きプロジェクトに取り組んでほしい。

トーマス・バーデ審査委員（IUD ユニヴァーサルデザイン研究所 CEO・ドイツ）：パンデミックにより、いかにUDが重要であり、ユーザー目線が必要であることを再認識した。今回のIAUD国際デザイン賞受賞者はUDの未来である。

ヴァレリー・フレッチャー審査委員（人間中心デザイン研究所所長・米国）：UDのコンセプトの中核はユーザー参画。今回は新しい方法でよりインクルーシヴなコミュニケーションを考慮したものが多く、受賞した取り組みでは、公平な世界を作るためにはUDへの取り組みを続けることがいかに重要かが示されていた。

ラーマ・ギーラオ審査委員（王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター所長・英国）：すべての応募に強靱な力を感じ、受賞作を選考することは大変難しかった。UDは最も力強い方法で地球を癒すことができるコンセプト。皆様からのアイデアは我々の未来を物語っており、私も多くの学びを得ている。

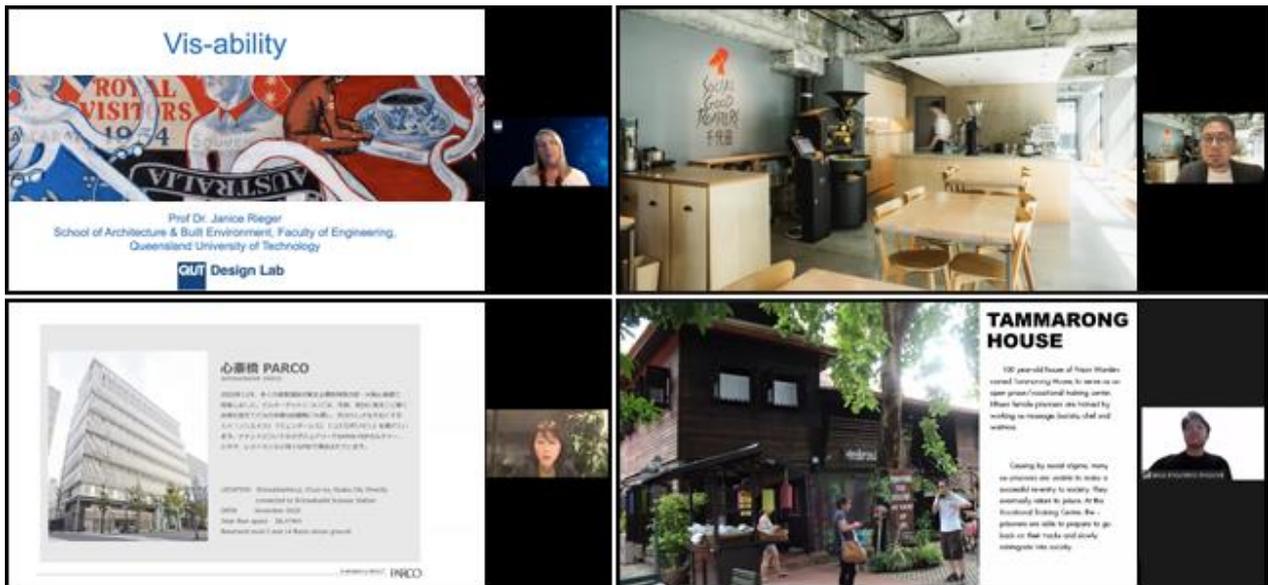
アンティカ・サワスリ審査委員（モンクット王工科大学建築学部長教授・タイ）：毎回、多様な人を巻き込んだデザインが多く提出されていることは嬉しい。今回は「学生デザインチャレンジ」を新設するなど、IAUD国際デザイン賞は人類の次世代に向けた価値を創出しており、我々の未来を示している。

川原審査委員:IAUD 国際デザイン賞は、国内だけではなく国際的なデザイン賞という枠組みで取り組んでおり、今後もより多くの国々から応募があるような事業にしていきたい。

国際的に評価された取り組みを紹介

続いて、大賞2件と金賞9件、学生デザインチャレンジ優秀賞1件の受賞者によるプレゼンテーションが行われ、受賞した取り組みがオーストラリア、タイ、ドイツ、日本、ノルウェーからリモートで紹介されました。

各受賞者からは非常にわかりやすく素晴らしいプレゼンテーションが行われ、UDについて更に興味を深め、共有する機会となりました。



世界各地から受賞した取り組みをリモートでプレゼンテーションする受賞者

「IAUD 国際デザイン賞 2022」開催へ

このように、オンラインで開催された「IAUD 国際デザイン賞 2021 プレゼンテーション／表彰式」は無事に終了しました。

参加者からは、「説得力のある充実した内容のプレゼンテーションだった」「受賞作はどれもアイデアにあふれており、感銘を受けた」「UDに関する世界各地の取り組みが理解できる素晴らしい機会だった」など、大変良い評価をいただきました。

表彰式開催の様子は、産経新聞2月2日朝刊と日経デザイン2月24日号に掲載されたほか、大賞を受賞したノルウェーでは、1月28日の現地テレビやラジオのニュース番組で表彰式の様子が放送されました。

IAUDは今年も「IAUD 国際デザイン賞 2022」を実施いたします。ぜひ、多くの皆様に奮ってご応募いただきたくお願いいたします。

応募要領は近日中にIAUD公式サイトに掲載します。

※「IAUD 国際デザイン賞創設10年の歩み」を掲載したNewsletterは[こちら](#)をご覧ください。



表彰式開催が放送されたノルウェーのニュース番組



多くの人々が快適で暮らしやすいUD社会の実現に向けて IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞紹介①



「IAUD 国際デザイン賞 2021 プレゼンテーション/表彰式」大賞表彰授与の様子

IAUD Newsletter は今号より、大賞と金賞、新設された学生デザインチャレンジ優秀賞の取り組みを順次ご紹介します。

第 1 回目は、大賞を受賞した三菱電機株式会社 / 兼松コミュニケーションズ株式会社の「聴覚障がいや言語の壁を乗り越える『しゃべり描き®アプリ』の取り組み」です。

オンニ・エイクハウグ審査委員長 (EIDD デザインフォーオール・ヨーロッパ理事) は「しゃべり描き®アプリ」について、「言語の壁や聴覚能力に関係なく、簡単にリアルタイムのコミュニケーションを可能にする実用的な取り組み。様々なユーザーグループとの協議を重ね、包摂的なデザインプロセスに基づいて作られており、現在のパンデミックの状況下での教育や行政におけるコミュニケーションに関する課題の解決手段としてだけでなく、幅広い可能性を備えた印象的なツール」と、高く評価しました。

今号の IAUD Newsletter では、「聴覚障がいや言語の壁を乗り越える『しゃべり描き®アプリ』の取り組み」を三菱電機株式会社の平井正人氏に紹介させていただきます。

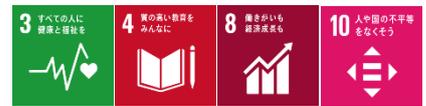
なお、「IAUD 国際デザイン賞 2021」を受賞したすべての取り組みには、受賞と関係の深い SDGs (国連の持続可能な開発目標) の項目番号を表示しています。

UD の基本理念である包摂性は「誰一人取り残さない」という SDGs の原則と一致しており、UD と SDGs が連動していることをよりわかりやすくするためです。



国連の持続可能な開発目標 17 項目

話した言葉を画面上に表示して安心・安全な対話を実現 聴覚障がいや言語の壁を乗り越える「しゃべり描き®アプリ」の取り組み 三菱電機株式会社／兼松コミュニケーションズ株式会社



しゃべり描き®アプリを使っている様子

話した言葉が指でなぞると文字に

「しゃべり描き®アプリ」とは、話した言葉を指でなぞった軌跡に文字表示するアプリです。手話や外国語ができなくても、聴覚障がい者や外国人との円滑で多様なコミュニケーションを可能にするために、2019年6月にリリースされました。

開発のきっかけは耳の不自由なインターン生

開発のきっかけは耳の不自由な学生がインターンシップに来たことです。インストラクターだったデザイナーは手話ができず、口元の動きを読んでもらいながら筆談とお絵描きを組み合わせ会話をしましたが、細かなデザインの指導にはもどかしく感じました。

この経験をもとに、世の中のコミュニケーションの壁（聴覚障がいの壁・言語の壁）をユーザーインターフェースの力で乗り越えようと、8名の有志のデザイナーが集まり自主研究プロジェクトの枠組みを活用して研究開発を始めました。

既存のコミュニケーションの課題と着目した2つの気づき

聴覚障がいの壁を乗り越える方法として、手話や筆談があります。しかし、手話は特別なスキルが必要で健聴者に普及していません。また、筆談は文字を書く負担や時間がかかるという課題があります。

一方、言語の壁を乗り越える方法として翻訳アプリがありますが、文字や言葉以上の表現ができないという課題があります。

研究を進める中で、私たちは2つのヒントを得ました。

1 点目は、聴覚障がい者は指差ししながら説明されても、話している唇の動きと指さしたところを同時に見ることができないため、話が理解できないことです。

2 点目は、筆談ボードを使うと、聴覚障がい者や外国人と楽しくコミュニケーションできることです。それは、文字や絵を組み合わせることで表現しているからだと考えました。

以上のことから、私たちは話した「言葉を指先に表示」し、「文字や絵を自由に組み合わせる表現」できるユーザーインターフェースの実現を目指しました。



話しながら指差し



筆談ボードを使ってコミュニケーション

しゃべり描き®アプリ 3 つの特長

話した言葉を指でなぞった軌跡に表示する「しゃべり描き®アプリ」には、以下の 3 つの特長があります。

- ・話した言葉を、絵を描くように表示する
- ・筆談よりも手軽でテンポの良いコミュニケーション
- ・指先から文字が湧き出てくる、わくわくした操作感



①マイクをタップ

②しゃべる

③なぞる

しゃべり描きアプリの基本操作

開発に当たっては、お絵描き、画像表示、多言語翻訳、対面表示などの機能と組み合わせ、円滑で多様なコミュニケーションを目指しました。



お絵描き、画像表示、多言語翻訳、対面表示と組み合わせた例

ユーザーの声に寄り添った開発

私たちはしゃべり描き®アプリを通して、どんな時も障がいや言語に関わらずコミュニケーションを楽しんでいただくことを目指し、日々ユーザーの声に寄り添った開発を進めて改良を重ねています。それらの中から3つの取り組み例をご紹介します。

取り組み例①:コロナ禍でお困りの施設へアプリを無償提供

新型コロナウイルス感染症拡大の影響でマスク着用が常態化し、聴覚障がい者は口の動きが読めず、コミュニケーションが難しくなりました。また、フィジカル・ディスタンスを保ったコミュニケーションが必要になりました。

そこで、私たちは福祉団体、役所、教育機関、医療機関、高齢者施設など約40団体に200ライセンスを無償提供しました。またこの活動を通して、多くのユーザーからしゃべり描き®アプリの新たな課題やニーズを知ることができました。

分類	名称
福祉団体	聴覚障がい者支援団体 (2団体)
	社会福祉協議会 (2団体)
	障がい社情報提供団体
役所	市役所 (3団体)
図書館	県立図書館
水族館	県立水族館
一般企業	ゼネコン
	人材就職・転職サービス業
飲食店	カフェ

主な無償提供先

分類	名称
教育機関	聴覚特別支援学校 (2団体)
	特別支援学校
	小学校 (一般)
	高等学校 (一般)
医療機関	聾学校
	リハビリテーション専門施設
	総合病院
高齢者施設	サービス付き高齢者住宅
	介護付き有料老人ホーム



介護施設で利用されている様子

取り組み例②:様々な実証研究を通して課題やニーズを抽出

2016年にしゃべり描き®アプリを発表してから現在まで、医療施設、高齢者施設、教育現場、水族館、空港などで実証研究を行っています。実証研究で多くのユーザーから様々な要望をいただき、それらを開発に取り入れています。

分類	研究内容
医療機関	聴覚障がい患者とのコミュニケーション
高齢者施設	高齢者と介護スタッフとのコミュニケーション
教育施設	聴覚障がい学生の絵画実習
	知的障がい生徒の発音練習、一般高校生との交流会
図書館	聴覚障がい者、外国人市民への対応
水族館	飼育スタッフによる聾学校生徒へのガイドツアー
国際空港・消防庁	避難訓練での外国人対応
海外ファッションブランド	訪日外国人・聴覚障がい者への接客
イベントスペース	訪日外国人・聴覚障がい者への案内

主な実証研究先



一般高校生との交流会で利用されている様子
(筑波大学附属大塚特別支援学校)

取り組み例③:教育現場と連携した研究

私たちは聴覚障がいの学生が通う筑波技術大学や、知的障がいの生徒が通う筑波大学附属大塚特別支援学校と連携し、障がい者の教育や学びを支援するしゃべり描き®アプリの機能開発や用途開発を行っています。

研究では、絵画授業での指導や、知的障がいを持った生徒と先生とのコミュニケーションなどの用途を検証しました。



絵画授業での指導で使用されている様子
(筑波技術大学)



知的障がい生徒とコミュニケーションを取っている様子
(筑波大学附属大塚特別支援学校)

ユーザーの声をもとに開発したチャット機能

無償提供や実証研究、教育現場との連携によって得られたユーザーの声をもとに、新たに開発した機能の1つが「しゃべり描き®チャット機能」です。

しゃべり描き®チャット機能では、複数の端末間で画面を共有しお互いに画面を操作しながらコミュニケーションを行うことができます。

また、ウィズコロナの社会において、フィジカル・ディスタンスを保ったコミュニケーションを実現しました。



しゃべり描き®チャットの使用シーン

誰もがより安心して豊かな毎日を実感できる社会へ

私たちは、しゃべり描き®アプリを通して聴覚障がいや言語の壁を乗り越えるために、ユーザーや現場の声をもとに研究を進め、アプリに反映する取り組みを進めてきましたが、まだ多くの課題が埋もれていると考えています。

今後も、私たちはしゃべり描き®アプリによるコミュニケーションを通して、誰もがより安心して豊かな毎日を実感できる、そんな社会の実現を願って、研究を続けていきます。

※「障害者」の表記に関して:IAUD では「障害者」という表記を使用していますが、しゃべり描き®アプリの取り組みでは「害」を使用しないようにしているため、今回は「障がい」と表記しています。



在宅で好きな時に UD 資格習得 第 15 回 UD 検定・中級オンライン開催のご案内

IAUD は「第 15 回 UD 検定・中級」をオンラインで開催します。

「UD 検定・中級」は、力試し問題と UD 検定・中級試験(70 分・129 問)を受けていただきます。

試験問題は、公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」(A4 判 263 ページ)に準拠して出題されます。受験される方は事前に公式テキストブックをご購入し、ご自身で学習された後に検定試験をお受けください。合否は検定試験終了後すぐに判定され、合格者には「UD 検定・中級 認定証」を発行します。名刺への記載も可能です。

申し込み受付は 3 月 3 日(木)から 4 月 20 日(木)までです。この機会に是非、

※「第 15 回 UD 検定・中級」詳細・申し込みは[こちら](#)をご覧ください。

※「オンライン第 1 回 UD 検定・中級」開催を掲載した Newsletter は[こちら](#)をご覧ください。



中級受験に必須の
公式テキストブック

IAUD 2022 年 3 月の予定

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3 第 15 回 UD 検定 中級申込受付開始	4	5	6
7	8	9	10	11 15:00～ 第二回理事会 オンライン会合	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21 春分の日	22	23	24 14:50～ 衣の UDPJ オンライン会合	25	26	27
28	29	30	31			

次号は 4 月上旬発行予定

特集:IAUD 国際デザイン賞 2021 受賞紹介②ほか

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会
事務局: 〒225-0003 横浜市青葉区新石川 2-13-18-110
電話:045-901-8420 FAX:045-901-8417 e-mail:info@iaud.net